

取扱説明書

Rinnai



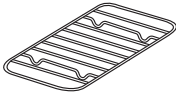
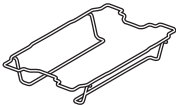
ザ・ココットセット 型式：RBO-TCV
ザ・ココット(単品) 型式：RBO-TCV-1

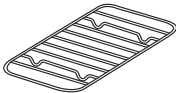
このたびは、リンナイのザ・ココットをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、安全に正しくお使いください。

同梱部品の確認

ご使用の前に、以下の部品が揃っているかご確認ください。

ザ・ココットセット RBO-TCV		ザ・ココットふた	ザ・ココット本体
			
オープン内網	固定枠	取扱説明書	レシピブック*
			

ザ・ココット(単品) RBO-TCV-1		ザ・ココットふた	ザ・ココット本体
			
オープン内網	取扱説明書		レシピブック*
			

* 2016～2018年発売の機器をお使いの方へ

同梱のレシピブックは、2019年8月発売の機器用のレシピブックになります。操作方法がレシピブックの記載内容と異なりますので、取扱説明書の注意事項をよく守ってください。

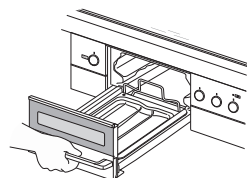
グリルで調理する際には、「オートメニュースイッチ」のココットダッチオープンのモードをお使いください。

ザ・ココットの取り付けかた

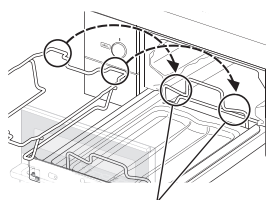
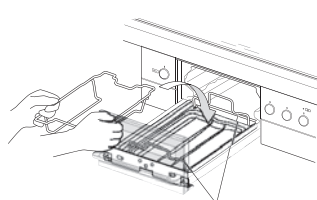
取り付けかた

<グリルへのセット>

1 グリルとびらを止まるまで引き出す

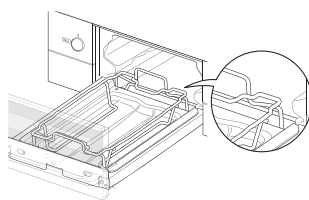


2 固定枠の両端をグリル皿受けにのせる

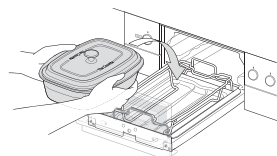


グリル皿受け

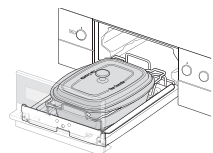
固定枠の両端をここにのせる



3 ザ・ココットを中身をこぼさないように 両手で持ち、固定枠の上に置く



4 しっかり固定枠にはまっているか 確認する

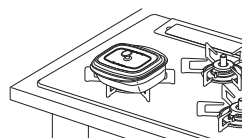


<コンロへのセット>

1 コンロ上での安定を確認する

ザ・ココットをコンロ上でご使用になるときは、安定しやすい横置きをおすすめします。

また、ごとくの中央にあることをしっかり確認してから使用してください。



安全上のご注意（必ずお守りください）

■絵表示には次のような意味があります。



この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です



この絵表示は、必ず実行していただきたい「強制」内容です



注意



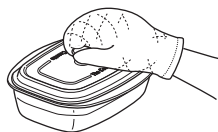
■ザ・ココットで魚焼きなどの調理をしない
脂がたまり、発火する原因になります。

注意



■ザ・ココットふたのつまみは、熱くなるので注意する

ザ・ココットふたのつまみは金属製です。調理中・調理後は、つまみがたいへん熱くなります。つまみを持つ際にはやけどに注意して、ミトンなどを使用してください。



■ザ・ココットふたを開けるときは、慎重に行う

でき上がってすぐにふたを開けると、立ち上がる湯気などでやけどをすることがあります。



■ザ・ココットの連携調理で、コンロ⇄グリルへ調理器具を移動する際は、やけどに十分注意する

調理器具が熱い状態でコンロからグリル、グリルからコンロへ移動する際には、やけどに十分注意して運んでください。また、コンロ・グリルが必ず消火していることを確認してから移動してください。



■木べらなどを使って混ぜる際は、火力を弱めてからやけどに注意してゆっくり混ぜる



■炎があふれないように火力を調節して使用する



■グリルで使用するときは、固定枠を取り付けてから、ザ・ココットを取り付ける

固定枠を忘れると、途中で火が消えたり、燃焼不良の原因となります。

点火してから気づいたときは、すぐに火を止め、グリルを冷ましてから固定枠を取り付けて使用してください。

ザ・ココットをお使いいただくときは

- 準備や調理については、付属の「レシピブック」をよく読んで、使用してください。

初めてご使用になる前に

- 初めて使用する前に、やわらかいスポンジで台所用中性洗剤を使って、よく洗ってから使用してください。
- ザ・ココットのつまみには保護シートが貼ってあります。必ずはがしてから使用してください。

調理の前に

- コーティングを長持ちさせるため、調理をする際には必ず油を引いて使用してください。
- オープンシートを使用する場合は、ザ・ココットからはみ出ないようにしてください。

調理中

- 空焼きはしないでください。コーティングを傷めてこびりつきやすくなったり、変色やはがれなどの原因になります。
- コーティングを長持ちさせるために、強火は避けてください。ザ・ココット本体は熱伝導に優れたアルミ製ですので、中火・弱火で十分調理できます。強火ですと焦げつきの原因になります。
- 金属製のフライ返しやとがった硬いものでこすると、コーティングを傷めてしまいます。木製やシリコンのスプーン・おたま・トングなどをお使いください。

グリルで使用するとき

- ザ・ココットをグリルで使用するときは、必ずふたをしてください。
- ザ・ココットは、加熱と消火後の余熱を利用して調理するため、加熱終了後、一定の余熱時間を設けてください。
- 余熱時間は調理によって違うため、付属の「レシピブック」をご覧ください。

ザ・ココットをお使いいただくときは

調理後

- ザ・ココットはたいへん熱くなっています。ザ・ココットを持ち運ぶ場合は、ミトンなどを使用し、注意して持ってください。化学繊維を使ったミトンなどは、溶ける可能性があるので使用しないでください。厚手の綿素材のミトンなどをおすすめします。ミトンは当社交換部品・お手入れ品の販売サイト R.STYLE でも取り扱っております。
- ザ・ココットを食卓にのせる場合は、必ず鍋敷きを使用してください。ただし、木製や樹脂加工の鍋敷きは使わないでください。また、ザ・ココットふたを鍋敷きとして使わないでください。
- 急に冷やさないでください。使用直後に水をかけると、変形する場合があります。冷めてからお手入れしてください。
- そのままの状態です長時間保存するとコーティングを傷めてしまう場合があります。料理を保存するときは必ず別の容器に移してください。

お手入れのしかた

- 調理後、十分冷めてから、お手入れしてください。
- 汚れたらそのつど、きれいにお手入れをしてください。
※汚れたまま使用すると、汚れが焼きついて、落ちにくくなります。
- 洗剤を含ませた布で汚れをふき取り、乾いた布で洗剤や水気をふき取ります。
※ザ・ココットふた・ザ・ココット本体はすぐに水気をふき取ってください。
- 汚れがこびりついたときは、つけ置きした後、洗剤で丸洗いしてください。
※ステンレス製の台やシンクなどに、ザ・ココットふた・ザ・ココット本体をぬれたまま放置すると、台やシンクなどを傷める場合があります。
※ザ・ココットふた・ザ・ココット本体はアルミ製で、コーティングがしてあります。そのため、酸性洗剤やアルカリ性洗剤を使用すると、表面が変色・変質する場合があります。
- ※ザ・ココットふた・ザ・ココット本体には、食器洗い乾燥機を使用しないでください。表面のコーティングを傷める場合があります。
- ザ・ココットはコーティングしてありますので、空焼きや急激な温度変化などで徐々に変色する場合があります。
- 硬いブラシやたわし、スポンジの硬い面、みがき粉などは、使用しないでください。塗装面を傷つけることがあります。
- ザ・ココットふたのつまみがゆるんだ場合は、プラスドライバーでねじを締め直してください。
- ザ・ココットふたのつまみは真ちゅう製のため、空気中の成分と反応して変色することがありますが使用上問題ありません。つまみに気になる汚れや跡が付いた場合は市販の金属みがき布でみがいてください。

ザ・ココットについてのお問い合わせは

お買い上げの販売店、または当社お客様センターにご連絡ください。

お客様センター  0120-054321



(工場管理)

JS0062-041(00)
190700 ●
DP000005206610